

埼玉県 学術の抄録

お世話になっております。キャストティックアーツ中沢勇太です。2月の学術の抄録をお送りいたします。

演目 発音を重視したメタルフレーム製作の実践

抄録 近年、高齢社会が進み、義歯に対する要望が多様化してきています。日本においては平均寿命も長くなり、義歯を装着してから長い時間を共にすることになる患者が多くなってきています。口腔内に留まり、違和感なく受け入れられしっかり機能する、そういった患者の QOL を向上させる義歯を製作することを目指していかなければいけません。

今回は発音、嚥下のしやすい義歯を製作するポイントを、一連の作業を通して解説、実践したいと思います。

内容としましては、実際の臨床ケースから起こしたサンプル模型を用いて、設計に関する簡単な講義を行い、実際に記入のデモをします。その後ワックスアップのデモをしたのちに、あらかじめ鋳造したメタルフレームの研磨デモを行います。

あくまでも原案ですので、皆さんで設計実習をするのであれば模型を用意して行ったり、ワックスアップ実習をすることも可能です。また、保険義歯のレジン研磨実習がよろしければそれでもかまいません。デモのみであれば上記の金属床実習が面白いかなと思います。

ただ、時間によっては研磨が最後まで終わらない等あるかもしれません。w : 学校の先生や、技工士会の方々のご意見で内容は変えられると思いますのでご検討のほどよろしくお願いいたします。